

議案第2号

資料3

令和5年度事業計画（案）

1 基本方針

錦帯橋の世界文化遺産登録に向けて、県・市・関係団体が連携・協働して、錦帯橋の顕著な普遍的価値（OUV）及び真実性（オーセンティシティ）等について、市民や県民はもとより国内外の方と共有化する理解増進・情報発信の取組を展開する。

特に今年度は、国において世界遺産の登録候補が記載される暫定一覧表の見直しの検討が令和3年度から継続されている中、錦帯橋の世界文化遺産登録に向けて国際的な観点からの意見をいただき、錦帯橋の顕著な普遍的価値や真実性等の合意形成を図っていくための取組みとして、海外専門家を招聘して、現地視察及びシンポジウム等を実施する。

また、県、市及び関係団体それぞれが実施する施策等の総合調整を行う。

2 実施事業

（1）（仮称）国際シンポジウム

時期	令和5年11月23日（木：祝）
場所	岩国国際観光ホテル
目的	錦帯橋の顕著な普遍的価値及び真実性等の理解増進
内容	昨年度に開催した国際オンラインミーティングの参加者を含む4名（予定）の海外専門家を招聘して、現地視察等を行い、国際的な観点からの意見等をいただくシンポジウムを開催し、地元のみならず国内の方への理解増進を図る。 ○招聘予定の海外専門家 【チリ】Angel Cabeza（アンヘル・カベサ）氏 【ギリシャ】Eleftheria Tsakanika（エレフテリア・ツァカニカ）氏 【スペイン】Mikel Landa（ミケル・ランダ）氏 【オーストラリア】Kristal Buckley（クリスタル・バックレー）氏

（2）啓発資材の作製ほか

目的	錦帯橋の顕著な普遍的価値の理解増進・情報発信
内容	各種イベント等で配布する。 ・リーフレットの重版 日本語版：6,000部、英語版：3,000部 ・グッズの追加作製及び新規作製

(3) PRパネルの展示

時期	令和5年度内
場所	各種イベント会場等
目的	市民や県民、観光客などに、錦帯橋の顕著な普遍的価値や魅力を情報発信
内容	啓発資材として制作したPRパネルを使い、各種イベントなどで展示を行う。